

呉宮原高等学校 第1学年 国語科単元指導計画

- 単元名 徒然草「ある人弓射ることを習ふに」
- 単元の目標 作者の人生観を通して見られる日本の思想を味わい、それに対する自分の考えを持つ。
- 単元の計画（全4時間）

時	主な学習活動
1	前段の弓道をする上での師の教えを把握する。
2	後段での仏道修行における心構えと弓の教えを関連づけて、そこから見えてくる作者の描く人間像について考える。
3	古典の中に見られる「花」に対する記述から日本の思想の流れを理解し、その流れの中で作者の人生観、人間観をつかむ。また、このことと前段の弓の教えを結びつけて考察する。 → 本時
4	日本の伝統文化と身近な日常生活を引き比べて、現代における日本の文化の特徴について、自分の意見を論じる。（グループワーク→各自で書く→発表）

- 本時の目標 無常観の流れを知り、無常の世に対する作者（兼好法師）の生き方を考察する。

5 学習の流れ（3時間目／全4時間）

学習活動 (○発問、●予想される生徒の反応)	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 全文音読 前時の復習 2 本時のめあて（課題）提示 3 日本の古典に見られる「花」のとらえ方から、無常観の流れを理解する。 (○万葉は「梅」、では平安は？ どうして？) (●「桜」パッと咲いてパッと散るから。→無常観の始まり) (○万葉～奥の細道まで、無常観はどう変化しているか) 4 弓に見られる無常観と本文との繋がりを理解する。 (○弓道で狙っている状態を「会」というが、これはどういう四字熟語から来ていると思うか予測してみよう。) (●「会者定離」→無常観→武士の生きざま→作者の生き方) 5 作者の人生観、人間観を無常観の流れの中で考察させる。 (○あなたは兼好法師です。現代のあなたたちに向けてメッセージを送ってください。) (●人間というものは「その時」を大切に生きてるのが難しいという思いと、この世ははかないからこそ一瞬一瞬を大切に生きてほしいという積極的姿勢をメッセージの主旨とする。) 6 本時のまとめ 7 振り返り 次回の予告	3◇グループワーク ・万葉集、古今集、伊勢物語、徒然草、武士の言葉から「花」に対するとらえ方の変化を考えさせる。 ・さらに、平家物語、能、謡、奥の細道、心敬の言を加えて、無常観の流れを考えさせる。 ・日常生活を想起させながら（たとえば「桜」「恋愛」「歌謡曲」「雪だるま」など）日本の文化と結びつけて考えさせる。 4◇電子辞書を使わせる。 ・「会」の読み方、辞書の使い方を工夫させる。 ・弓にまつわる他の言葉で、現在も生きている言葉を引き合いに出しながら、武士の心意気を想像させる。 5◇無常観の流れ、弓を引くことに込められた武士の生きざまと作者の本文における意図を結びつけさせ、作者はどのような意図でこの文章を書いたと自分は考えるか、意見を書かせる。	3 ・文献相互を関連づけ、それに基づく考察ができるか。[話すこと・聞くこと] ・興味関心をもって身近な例を思い浮かべることができるか。[関心・意欲・態度] (学習観察) 4・既習の読み、他の熟語、辞書の利用の仕方が的確にできるか。 [知識・理解] ・既習の言葉と学習活動を結びつけることができるか。[読むこと] (学習観察) 5 本時の学習活動と作者の意図を関連づけて考察することができるか。[書くこと] (パフォーマンス評価)